

船迫中学校

学校だより 第16号

平成28年12月22日

そっ たく
啐 啄

啐は殻の中で雛が突っつく音、
啄は母鶏が殻を噛み破ること。
またと得難い良い時期を意味する。



2016年が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

2016年の活動が本日の終業式で無事に終了しました。新しい校長先生はじめ先生方が着任し、始業式、入学式、修学旅行、中総体、クラスが一つにまとまった迫中祭、合唱コンクールとどの行事も3年生がリーダーシップを発揮し、1、2年生も負けるとも劣らぬ活躍が見られ、学校全体が一つになって躍動した1年となりました。私達職員一同も生徒一人一人の確実な成長を感じることができ、嬉しく思っております。これも保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力のおかげであると感謝しております。新年もこれまで以上に、船迫中学校を発展させるべく努力を続けて参りますので、今後とも宜しくお願いいたします。

二学期 終業式 校長式辞より

平成28年度の第2学期が今日で終了します。

この2学期、本当に多くの場面で皆さんが活躍し、船迫中学校の新たな伝統を築いてくれたことに感謝いたします。特に、今学期の大きな成長は船迫中学校の「集団力」が高まったことです。「集団力」それは生徒一人一人の皆さんが互いに相手を尊重し、一つの目標に向け、学級の力を集結し、全員が意欲的に活動することです。そのような姿を特にみせてくれた3年生に心より感謝いたします。迫中祭での競技に一生懸命打ち込む姿、学級・学年・学校全体で体育祭を盛り上げようとする姿、心から体育祭を楽しもうという姿、そして何より級友を思う皆さんの温かい心。これら全てが集結し、迫中祭が充実したものになり、私たちみんなが一体感、充実感を味わうことができたのです。また、合唱コンクールでも3年生の皆さんの素晴らしさをここにいる私たち全員が感じたことと思います。さらに3年生は小中連携英語学習として、今年はじめて小学校に訪問し、小学校6年生と一緒に英語を学習しました。その時も皆さんのコミュニケーション能力、小学生を思う、思いやりの気持ちを強く感じることができました。小学生にとって皆さんはあこがれの存在です。

では、1年生はどうでしょうか。知らない土地での農業体験学習。学校に帰ってきたときの皆さんの充実した表情。そして、何より自分たちの活動を学級のみならず発表している姿をみると、きっと自ら積極的に農家の方々に話しかけ、心を開いて交流を持つことで、素晴らしい活動ができたことと思います。1年生の皆さんも農業体験学習をつうじて「集団力」とはどういうものか学習できたと思います。そして、これからの船迫中学校をリードしていく2年生の皆さん。3年生が引退した後の部活動での新人大会。各部で部長やキャプテンはきっと我が部活動の「集団力」を高めようと悩んだことと思います。サッカー部が県大会3位、卓球部が県大会出場と県レベルの素晴らしい活躍をしてくれました。本当に嬉しいことです。更に、それにも増して私が感動したことは、新人大会後の部活動への取り組みが変わった生徒が増えてきたことです。ある部では一人や二人で黙々朝練習をやっている姿を見ます。また、寒い中、ひたむきにボールを投げたり、打ったりしている姿を見ます。このような生徒が増えてくれば船迫中学校の部活動の「集団力」ももっともって高まってきます。また、2年生が中心となる生徒会活動、専門委員会。それぞれ委員長の皆さんは自分の所属の委員会の「集団力」を高めようと励んでいます。これから更に「集団力」を高めるためには、相手を尊重する心、認める心、自分から積極的に関わっていくコミュニケーション能力を磨くことが大切です。自分は「関係ない」ではなく、相手のために、みんなのために何ができるか常に考えながら、3年生になる準備をはじめてください。期待しています。最後に皆さんに次のような言葉を贈ります。

Do your best, and it must be first class. (最善を尽くせ、そして一流であれ)

私たちは学校生活を充実したものにするため学習、部活動、委員会活動、行事、学級づくり、進路等全てにおいて、最善を尽くすことの大切さ、努力することに大切さを分かっています。

Do your best, and it must be first class. (最前を尽くせ、そして一流であれ) しかし、最善を尽くすことは当たり前のことであり、更に一流を目指す、一流である「気概」が必要なのです。一流であるからこそ、他の人々から理想のモデルとして受け入れられ、みんなの目標になるのです。私たちは他の方々から「なるほど、そんなやり方があったのか」「そんな努力をすれば目標が達成できるのか」と言わせるような誰もが納得し、模範となるような自分独自の「一流」の方法を生み出すことが大事なのです。皆さんも目標を設定し、その目標のために最善の努力をして、みんなの模範となるような「一流」を目指して下さい。

毎年恒例の今年の漢字が先日発表されました。今年の漢字は「金」です。私の今年の漢字は「心」です。この一年、迫中生は心を込め、最善を尽くし、一流をめざし努力してきました。しかし、そこには常に自分と向き合い、相手を尊重する、美しい「心」があることを忘れてはなりません。みなさんのこの1年の頑張りを賞して、今日全員にプレゼントがいきます。是非、この冬休みから有効活用してください。どうぞ、穏やかで良い新年をお迎え下さい。



生徒代表の挨拶から



入学してから約8ヶ月がたち学年全体が中学校生活にすっかり慣れました。二学期を振り返ると1学年全体の良かった点は農業体験や迫中祭、合唱コンクールなどの行事を通して学年やクラスの団結力を深めることができたことです。特に、迫中祭リレーや長縄跳びなどでクラスの団結力を深めることができたと思います。

次に改善点です。きちんと先生の話聞いていない人がいたり、タイム着席をしていない人がまだいるので、そういった点を改善できるよう呼びかけをしたいと思います。最後に自分自身の二学期を振り返ると、頑張ったことが二つあります。一つ目は勉強です。二学期は二つのテストがありました。実力テストと期末考査です。どちらも頑張って納得のいく点が取れたので良かったです。二つ目は部活です。二学期に部活では4回大会がありました。そのうち郡新人大会では先輩たちの活躍で優勝することができました。別の大会では自分自身が良い結果を残すことができたので良かったです。三学期も勉強や部活動や学級委員会として自分の仕事を頑張っていきたいです。

(1年2組 池田 大志)

今年の1年間を振り返ってみるといろんな事がありました。特に印象に残っていることが二つあります。一つ目は合唱コンクールです。自分は今年も去年と同じ指揮者でした。自由曲が2組と同じということもあってクラスが一つとなり練習をしていました。そして本番。自分はすごく緊張していました。(失敗したらどうしようかなあ)その時、クラスメイトが声をかけてくれたので、少し楽な気持ちになれました。自分達のクラスは賞を取ることができなかつたのですが、クラスが一つになり合唱ができたので良かったです。来年は最優秀賞を取れるように頑張りたいです。二つ目は迫中祭です。特にリレーです。オールメンバーリレーとベストメンバーリレーの二つです。ベストメンバーリレーは当日の朝や競技の始まる前などにバトンパスの練習をしました。本番では3年生に勝ち1位になることができました。凄く嬉しかったです。しかし、自分達のクラスは優勝することができなかつたので、悔しかったです。来年は勝てるように頑張りたいです。今年はいろんな事があり、嬉しかったことや悔しかったこと様々でしたが、楽しい1年でした。来年は3年生、受験や最高学年として頑張っていきたいです。そのため、3学期は、家庭学習を毎日2時間、礼儀とあいさつを忘れずに頑張りたいです。

(2年1組 佐藤 海斗)

私が2学期を振り返って学んだことは、人との関わり方です。私は今まで、自分から積極的に何かを行うことが出来ませんでした。それをしたいと思っても、行動に移すことができず、ずっと見ているばかりでした。しかし、そんな私が、積極的に行動できるようになったのは、私達のクラスのお陰です。私のクラスは当たり前の仕事を当たり前にでき、駄目な時は駄目と言い、良い時は褒め合い、Gタイムなどの授業ではクラスの皆が協力して、仲良く生き生きと活動できるクラスです。こうした日々の生活を積み重ねてきたから、私達のクラスは迫中祭で優勝を勝ち取り、合唱コンクールで最優秀賞を取ることができたのだと思います。このクラスのお陰で、私は人との関わり方の本当の意味を知り、心を磨く事ができました。そして、そんな信頼できる仲間達のお陰で、私はこれまで見ていただけだったことに、自信を持って積極的にチャレンジすることができるようになったのです。この力を生かし所属する委員会では、毎月の反省を一つ一つ解決して、皆で協力して最後までしっかり取り組むようにしたいと思います。

私の3学期の目標は、自分の進路希望を達成する事です。正直に話をすると、今私は受験に対してとても不安です。でも、不安なのは私だけではなく、3年生皆がそうだと思います。この不安をどうプラスに変えるかによって、受験に対する気持ちは大きく変わると思います。私は「自分一人で受験に立ち向かうのではなく、家族や先生、大切な友達、3年生皆で立ち向かうことができる」と思うだけで、不安が消え、勇気が出てきます。この思いを忘れず、冬休みは自分に厳しく受験勉強に取り組みたいです。これから、残り少ない学校生活をクラスの仲間達や3年生の皆、そして先生方と存分に楽しみ自分を含めた3年生全員が志望校合格を達成できるよう、いつも前向きに一生懸命生活していきたいと思います。

(3年1組 高橋 菜々子)

新人戦激励会、迫中祭、生徒会役員選挙など、二学期は私たち執行部にとってとても大切な時期でした。10月に行われた迫中祭では、実行委員の皆さんと協力・連携し、夏休み前から計画を立てて準備をしました。当日はその成果を発揮することができ、今年度のスローガンである「協進」に近づくことができたと思います。11月には、生徒会選挙があり、旧執行部からの引き継ぎがありました。あいさつ運動や意見箱の活用、委員会活動の活発化などこれまで旧執行部が行ってきた活動を振り返りました。新執行部が始まって約1ヶ月が経ちました。至らないところもたくさんありますが、今後船迫中学校をより良くするために私たちに何ができるか、何をすべきかを考えています。そして全校生徒の皆さんに協力してもらえよう活動していきたいと思いますので、これからも宜しくお願いします。

(生徒会代表 相良 康太)